

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 雲南市立西小学校 ～

1. 概 要

7月 2 日(水)、雲南市立西小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、学校周辺の遺跡や縄文時代から古墳時代の暮らしの様子、鏡について学んでもらいました。その後、縄文土器や弥生土器、大東町で出土した土器や石器など本物の遺物を見学したのち、鏡作り体験をしました。

これらの授業・体験を通じて、自分たちの身の回りにも多くの文化財があることを知ってもらうとともに、古代の鏡についての知識を深めることができましたと思います。

2. 学習の様子



大東町にもたくさんの遺跡があるんだ



大東町出土の土器を見学する児童たち



これから鏡作りが始まります！



綺麗に磨くのもコツがいります

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

○“心に残った”こと

- ・昔は鏡にもようがいろいろあったんだと思った。
- ・土器を見たりさわったこと
- ・縄文土器などけっこうみつかったこと
- ・歴史的な物が雲南市にも何個もあるということ

○もっと知りたいことや体験したいこと

- ・勾玉づくり
- ・発掘体験
- ・銅鐸や勾玉を見てみたい
- ・昔の人の食べ物について知りたい

2) 担任の先生から…

- ・文化財こども塾を開いていただくととてもいい学習になる。物的・人的に難しいと思うが、できたら毎年学校に来ていただきたい。

3) 埋文センターから…

- ・短時間で座学、資料見学、体験と密度の高い授業ができました。本授業を通して、文化財をより身近に感じていただけたのではないのでしょうか。体験など時間が足りない部分もあったので、もう少し時間配分を工夫することで児童たちの理解をより深めることができたと思います。